

2026（令和8）年度  
事業計画書

学校法人北海学園



# 目次

## I 北海学園が目指す姿

建学の精神・教育の理念.....	2
北海学園 VISION2035.....	2
事業計画と理念・ビジョン等との関係性.....	3

## II 2026（令和8）年度の事業計画

1. 教育.....	4
2. 研究.....	7
3. 学生・生徒支援.....	8
4. 社会連携・貢献.....	10
5. 国際化.....	11
6. 広報・ブランディング.....	12
7. 経営基盤.....	14
8. 施設設備.....	18

## III 予算の概要

1. 2026（令和8）年度予算編成の方針.....	20
2. 収支予算書について.....	20

# I. 北海学園が目指す姿

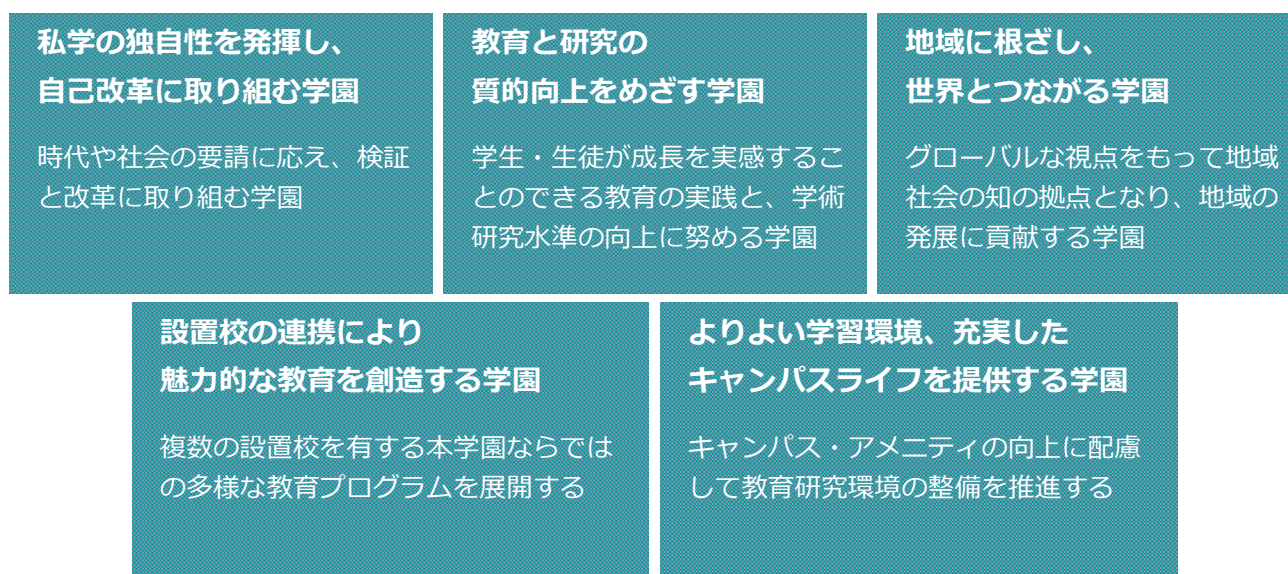
## 建学の精神・教育の理念

本学園が設置する学校の建学の精神やモットーとしているものの表現は、それぞれ異なりますが、その淵源は1911年に“北海学園の父”浅羽靖が制定した26条から成る北海中学校の「学訓」に求めることができます。その第25条には「道義二由テ発スル所ノ勇ニ非レバ真ノ勇ト言フヲ得ズ真ノ勇ハ不屈不撓万難ヲ排シテ邁進シクク久シキニ耐工死ニ至ルマデ廃セズ故ニ成功セザル者幾ンド希レナリ」と定められており、浅羽の「百折に撓むことのない有為の社会人たれ」という教えが北海中学校の学訓において明文化され、今日、各学校に共通して受け継がれています。



## 北海学園 VISION2035

これまで本学園が積み重ねてきた歴史と伝統を継承し、理念の実現と使命を果たすべく、2035年に迎える創基150周年に向けて「北海学園 VISION2035」を策定いたしました。「北海学園 VISION 2035」は、2035年に本学園がどうありたいか、どうあるべきかをまとめたもので、150周年に向けて、さらにその先の未来に向けて、本学園がさらなる発展を続けるために掲げた本学園の構成員にとって共通の目標、指針となるものです。



予測困難な変化の激しい時代の波の中においても、学園を構成する全員が、ビジョンに掲げた学園づくりに邁進してまいります。

これら設置各校の建学の精神とこれまでの教育研究活動によって培ってきた歴史や伝統を踏まえ、設置各校に共通する学園としての教育理念を次のとおり再定義しました。

❖ **パイオニア精神をもった人物の育成**

「不屈不撓」の精神をもって困難を乗り越え未来を切り拓く志ある人を育てる

❖ **自ら学び、考え、行動する人物の育成**

自主・自立・自律を重んじ、確かな学ぶ力と思考力、実践力を育てる

❖ **広い視野と多角的な視点を有し、国際感覚を備えた人物の育成**

専門知と総合知を兼ね備え、地球市民としての資質を身につけた人を育てる

❖ **「質実剛健」で豊かな人間性をもった人物の育成**

誠実で健全な精神をもち、他者を尊重し多様性を認め合う人を育てる

❖ **地域や社会に貢献する人物の育成**

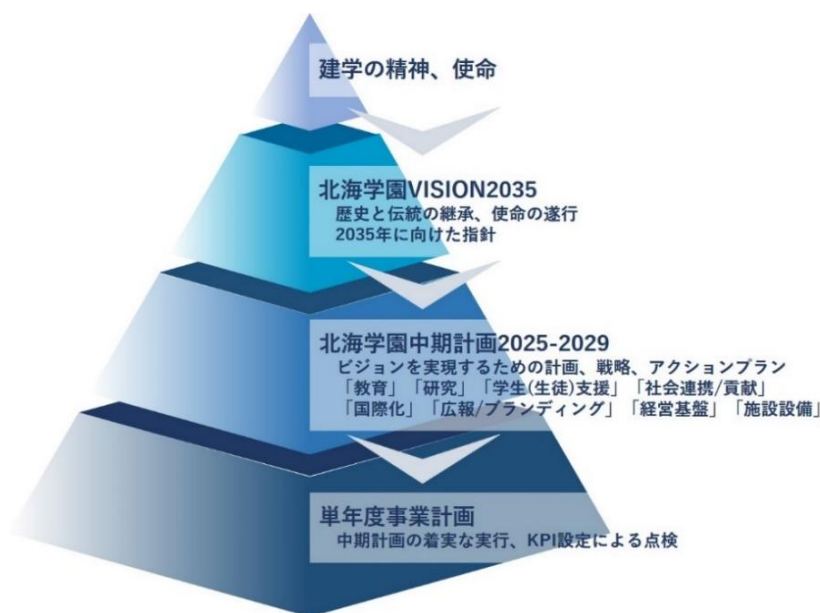
多様な人々と共生・協働して地域や社会を支える人を育てる

## 事業計画と理念・ビジョン等との関係性

学園の経営や教育研究活動の根幹にあるのは、建学の精神や理念であることは明白であり、中期計画や単年度事業計画においても例外ではありません。私たちが取り組むべき事業計画は、建学の精神や教育の理念を基本に据え、学園の使命を果たしていくために2035年に向けて学園が目指す姿を「北海学園 VISION2035」として表し、このビジョンの実現に向けた5年間に取り組む中期計画の各年度の内容を定めています。

単年度事業計画は、北海学園中期計画2025-2029の内容を具体化し、それぞれKPI（Key Performance Indicators）を設定することで、その進捗を測ることができるようにし、着実に実行していく仕組みを整えています。

このように、建学の精神、理念からビジョン、中期計画、事業計画に至るまでを連動させることで、計画の整合性を図っています。



## Ⅱ. 2026（令和8）年度の事業計画

### 1. 教育

#### <北海学園大学>

1. 専門教育と一般教育の充実と再構築	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学教育改革の検討結果を踏まえて、各学部・学科において特色ある教育の体系やプログラムを検討</li> <li>・大学教育改革の検討結果を踏まえて、一般教育の改革を検討</li> <li>・短期・中期・長期的なキャンパスの活用方法・維持保全計画などの検討継続</li> <li>・図書館の選書コーナーの充実に取り組む</li> </ul>
KPI	・特色ある教育の体系とプログラムの方向性をとりまとめる
2. 教学マネジメントに基づく教育の質保証の構築	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教学 IR 体制に関する情報収集の継続と、持続可能なあり方についての検討</li> <li>・FD 委員会が「授業改善アンケート」と「学生生活実態調査」を実施し、その結果を踏まえて改善に取り組み学生の満足度を高めていく</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IR 体制に関して収集した情報の取りまとめ</li> <li>・「授業改善アンケート」の「科目の総合評価」を全科目平均で 4 点以上を達成する（5 点満点）</li> </ul>
3. 学修支援体制の強化と学修環境の整備	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SA と RA の制度について他大学の実施状況を調査（継続）</li> <li>・BYOD などの ICT 教育の充実の具体策を検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SA と RA の他大学の調査報告を作成</li> <li>・ICT 教育充実の具体策について、管財部と「ICT 連絡会」を年 2 回以上開催・協議</li> </ul>

#### <北海商科大学>

1. 教学マネジメントの再構築と教学 IR 体制の整備	
計画	・既存組織の業務見直しのため、学内ヒアリング調査を実施
KPI	・学内ヒアリング調査結果のとりまとめ及び学長会議への報告
2. 入学前教育の実施	
計画	・総合型選抜と学校推薦型選抜に対する統一的な入学前教育の実施及び入学後の適切な学びの方法等に関する見直しの実施
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学の状況調査実施、結果集約</li> <li>・入学前教育等の見直し案作成及び報告</li> </ul>
3. 新たなニーズに対応できる積極的な教育課程再編の検討	
計画	・前年度検討内容の検証とともにニーズ調査を実施し、再編案の検討実施
KPI	・再編案の作成及び報告
4. 能動的な学修を支援するための学修支援システム構築	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学自習用教材の活用を推進するとともに、教養教育推進委員会等で個別最適化した指導方法をとりまとめる</li> <li>・1 年次生の学修支援状況調査を実施し、リメディアル教育改革 WG で検証を行う</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学自習用教材の専任教員 80%以上使用</li> <li>・学修支援状況調査結果を踏まえたリメディアル教育改革案のとりまとめ</li> </ul>

5. 学内研究の推進と研究指導體制の強化	
計画	・大学院教務委員会で学内共同研究推進等に関する改善の検討を実施し、学内共同研究推進及び研究発表構成案を作成
KPI	・学内共同研究推進及び研究発表構成案の提出、機関決定

## <北海高等学校>

1. 新カリキュラム検討と生徒の学習力向上	
計画	・2027年度新カリキュラム導入に向けてプロジェクト委員会、運営委員会で検討・素案作成を実施 ・教科ごとの授業分析に基づく目標の設定 ・生徒の部活動・学業両立支援と運動部推薦生へのフォロー体制整備に関する検討
KPI	・新カリキュラム素案完成 ・「学校生活アンケート」の満足度 7割以上 ・「学校評価」に基づく、生徒・保護者の学校への満足度 10%向上
2. 北海高校独自の探究活動の発展	
計画	・探究推進委員会で、各学年の取り組み目標を設定し、事業の推進を図る ・首都圏の大学との高大連携に関する協議実施 ・探究活動により得られた成果物の外部発表の検討
KPI	・探究推進委員会の総括をもとにした内容の充実（2025年度内容との比較） ・評価方法について、課題に取り組むプロセスを重視した観点別評価の導入 ・探究活動による成果物の外部発表機会の増加
3. 課外活動の活性化	
計画	・ガイドラインに則った部活動運営の実施 ・強化指定部数の適正化に関する検討 ・文化部の活性化を目指した顧問間の定期的交流を実施 ・生徒会による自治活動の質の向上と北海祭の企画への検討 ・生徒会執行部と学校管理職との座談会等の実施 ・体育館工事に伴う学校行事の今後の在り方を検討
KPI	・部活動ガイドラインを基準にした活動点検の実施 ・北海祭他学校行事に対する内外評価のまとめ ・過去3年間の強化指定部の部員数、全道・全国大会での成績等評価 ・文化部の発表の場、機会の増加 ・生徒会執行部と連携した学校行事の在り方検討
4. 教育DXの実現に向けた取り組み	
計画	・情報システム管理委員会の主導によるICT活用の推進 ・生成AIの活用と実践についての検討 ・スチューデントプランナーのアプリ化などの発展
KPI	・各教科によるICT活用率増加 ・ICTを活用した学習状況の推移分析と生成AIの活用、生徒の個別最適な学習の展開 ・模擬試験の推移と学習活動との相関関係についての検証

5. 併設大学との高大連携事業の充実	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設大学との高大連携に関する協議実施</li> <li>・高大各施設の供用化についての検討推進</li> <li>・北海学園大学の教室や図書館の利用に関する検討</li> </ul>
KPI	・高大連携に関する協議回数の増加および各校との情報共有

## <北海学園札幌高等学校>

1. 国公立大学及び難関大学への進学率増加（特進コース）	
計画	・現状の学力水準の把握のため、外部模試や学習調査を用いた分析を行い、受験方式別および大学別受験指導を推進し、継続的に指導体制を整備する
KPI	・特進コースからの国公立・難関大学合格者 32 名以上
2. 多様な進路選択の実現に向けた実践的教育の強化（総進コース）	
計画	・北海学園大学、または北海商科大学へ受験を希望する生徒への受験方式別受験指導を実施する
KPI	・前年度の受験結果を踏まえた次年度の受験対策の見直しと計画案の策定
3. 国内外の教育リソースを活用した多様な進路選択の展開（グローバルコース）	
計画	・国際教育連携部と進路指導部が連携して入試情報等を生徒に周知するとともに、海外の大学受験指導や受験対策講習を実施する
KPI	・海外の大学へ受験を希望している生徒に対する受験指導・講習を実施
4. 医療・看護系大学への進学促進（メディカル・プレップコース）	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・看護系大学や医療団体との連携事業の推進と連携協定のための協議を継続する</li> <li>・連携先と実施する研修プログラムを資格取得につながる内容とする</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・看護系大学や医療団体との連携協定を締結（1 件）</li> <li>・救急救命・医療・健康に関する資格取得率を研修プログラム参加者の 65%以上とする</li> </ul>
5. 学習意欲向上と進路目標の明確化につなげる高大連携事業の充実	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設校や各連携校との連携事業や推薦枠拡大に関する検討を実施するとともに校内の要望を整理、調整する</li> <li>・併設校の連携事業に関する担当者と年数回協議を行う</li> </ul>
KPI	・併設校や各連携大学との連携事業や推薦枠に関する要望書を作成する
6. 教育の質向上のための ICT 活用の促進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器を活用した授業方法を継続して検討し、既存の教育方法に新たな価値観を加えて教育効果を高める</li> <li>・教員間で ICT 活用に関する情報共有を行えるような仕組みを構築する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器の新規活用に関する計画案を更新し改善する</li> <li>・学校評価アンケートの ICT 活用に関する評価の平均を 3.5 以上にする</li> </ul>

## 2. 研究

### <北海学園大学>

1. 研究に専念できる制度や体制の充実	
計画	・在外研修および国内研修制度の充実に向けた検討の開始 ・各種委員会の整理統合と学部ごとの委員数見直しの提案
KPI	・新研修制度の原案作成 ・各種委員会の規程の改定
2. 外部研究費の獲得推進	
計画	・科研費申請を支援し、申請数を増加させる ・科研費以外の外部研究費について、種類や採択状況等の現状を把握し、申請に向けた周知実施
KPI	・科研費申請数 40 件以上 ・その他の外部研究費のうち可能なものの成果を公表

### <北海商科大学>

1. 科学研究費補助金の獲得推進	
計画	・科学研究費補助金申請促進のため、不正防止計画推進室主催の研修会実施
KPI	・科学研究費の申請数 6 件、採択数 15%以上

### 3. 学生・生徒支援

#### <北海学園大学>

1. 学生によるピアサポートの促進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポートやメンター制度の内容と体制検討継続</li> <li>・図書館を活動場所の一つとする学生団体と協力し、図書館活用法等の普及</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポートやメンター制度の検討結果を取りまとめる</li> <li>・「学生生活実態調査」の「学習支援（授業が分からないときに教員や上級生から得られる支援）」の満足度 42.5%以上</li> </ul>
2. 学業優秀者に対する特待生制度の検討	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き特待生制度について他大学の実施状況を調査し、本学制度案の検討継続</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特待生制度の調査報告</li> </ul>
3. キャリア支援体制の充実	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業・業務内容の見直しと合理化を継続と、予算編成への反映</li> <li>・業務のアウトソーシングや学外事業者との協働を行う場合、その実現に取り組むとともに、今後の収益事業の可能性について検討し、学内的な訴求に取り組む</li> <li>・2025 年度策定したキャリア形成支援構想の実現に向けた具体的なコンテンツ案の検討及び開発・制作、プロトタイプ/テストケースとしての運用実施</li> <li>・キャリア支援構想の実現に向けた学内他部局や学外との連携・協力関係の構築</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業・業務内容の合理化を予算編成へ反映、必要に応じた補助金獲得</li> <li>・新たなキャリア支援構想に基づくプログラムやコンテンツに関するプロトタイプ/テストケースの実施</li> <li>・社会連携/貢献、広報/ブランディング等について学内他部局との横断的な連携・協力体制を検討・具現化</li> </ul>
4. 多様性に開かれた大学生活のための支援	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談、こころの相談、アクセシビリティ支援などを充実させる対策の実施</li> <li>・ハラスメント相談やハラスメント防止を充実させる対策を実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学生生活実態調査」の「学生相談サービス」の満足度 32.5%以上達成</li> </ul>

#### <北海商科大学>

1. 個別最適化したキャリア支援体制の充実	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通、観光ビジネス等の領域におけるインターンシップ派遣先の拡充と、参加学生がスムーズに実習できるような事前研修（ビジネスマナー・業界理解等）の検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026 年度卒業生の就職率 95%以上</li> <li>・インターンシップ参加率 70%以上</li> <li>・インターンシップ事前研修の実施、受講率 80%以上</li> </ul>
2. ハラスメント防止対策の推進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025 年度実施のハラスメント防止オリエンテーションの結果を踏まえたオリエンテーションの実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション参加率 100%</li> <li>・参加者アンケートによる理解度 95%以上</li> </ul>

3. メンタルヘルスケアの推進	
計画	・アンケート分析結果に基づく学生支援対応策の検討と、学生支援に関する内容のFD・SD研修会の実施
KPI	・学生支援対応策の作成と学内共有 ・学生支援に関する研修会実施（1回以上）と参加率100%

## <北海高等学校>

1. 進路指導体制の充実と指定校推薦枠の拡大	
計画	・進路指導部の方針に基づく指導の継続 ・高大連携協定校との協議を通じた発展 ・併設大学への進学生徒の単位互換、経済的メリットなどについての具体的な協議
KPI	・進路指導体制の充実による生徒の満足度の向上（進路アンケートをもとに調査） ・指定校推薦枠拡大に関する協議の実施
2. 学力向上と進路実現に向けた支援体制の強化	
計画	・生徒自らが学習の質の向上を意識するような指導を実施 ・学年やコースに応じた最適な講習方法の展開 ・スチューデントプランナーの有効的な活用の検討 ・保護者に対する適切な情報提供、保護者集会で教育研修の機会を提供
KPI	・講習参加者の学力変化や満足度、志望校への合格状況等の分析 ・生徒の年間の取り組みの中で「学校行事への取り組みの記録」「進路学習講演会の記録」「検定・資格取得の記録」等の項目の達成率向上
3. 心の教育の充実	
計画	・スクールカウンセラーによる講話会の実施(教員向け、生徒向け) ・学年会主催による集会の実施 ・外部講師を招いて主権者教育、情報リテラシー教育、金融教育、ジェンダー、その他について勉強会実施
KPI	・学年通信、生活指導部だより、保健だより、カウンセリング通信の各年2回以上発行と活用 ・学校生活アンケート、いじめアンケートの状況確認の徹底 ・主権者教育、情報リテラシー教育、金融教育、ジェンダー他に関して外部講師を招いた学習会を各1回程度、計3回開催
4. 教員の負担軽減を目指したICT機器管理業務の効率化	
計画	・2025年度配置したICT支援員から得た活用術をもとに、情報システム管理委員会から各教科に対して、ICT指導方針を立案する
KPI	・生徒用PC故障時の迅速な対応体制を構築 ・学校生活アンケートにおけるICT項目回答の向上 ・教科ごとにICT活用による授業計画を立案し進捗状況を確認

## <北海学園札幌高等学校>

1. 課外活動の活性化	
計画	・部活動活性化策（部活動内容・成果等の情報発信強化や強化指定部制度等）の検討を継続
KPI	・情報発信強化内容の検討と実施（ホームページ部活動報告掲載10%増加） ・強化指定部の指定（野球部・サッカー部・吹奏楽部）

## 4. 社会連携・貢献

### <北海学園大学>

1. 地域連携事業による社会連携・貢献や産学官連携の推進	
計画	・北海道立総合研究機構、またはその下部組織の北方建築総合研究所との包括連携協定を締結 ・その他の機関との目的別協定の締結を目指す
KPI	・北海道立総合研究機構との包括連携協定など新たな協定 1 つ以上締結と協働事業のスタート ・道内過疎地域の地域課題の洗い出しと成果創出
2. 地域との連携・交流の強化	
計画	・近隣地域（豊平区・近隣町内会）との学生やサークルを含めた交流計画の立案と実施 ・一部施設の市民への開放を検討
KPI	・地域との交流のための体制の確立 ・参加するサークルの募集 ・公開講座の開講 ・施設の市民への開放イベント数、1 事業以上
3. 社会・地域連携を推進するための組織改革	
計画	・北方共創圏研究センターを設立し、主幹研究員や研究員を置くことにより、研究体制の一層の充実を図る
KPI	・地域連携事業 10 件以上

### <北海商科大学>

1. 地域課題の解決に向けた学びの促進	
計画	・北海学園大学とともに札幌市における地域貢献事業に関する協議を実施する（継続） ・各ゼミナールにおいて、人口減少や高齢化等の地域課題の解決に関するテーマを決定する（継続）
KPI	・学術発展センターで連携内容の具体化を検討、試行 ・各ゼミナールでテーマを決定

### <北海高等学校>

1. 地域に根ざした活動への積極的な取り組み	
計画	・札幌東ロータリークラブと年次計画を調整する ・生徒会執行部と学校の連携を図る
KPI	・札幌東ロータリークラブとの活動報告を共有 ・インターアクトボランティア部年次大会への参加と報告書の作成

### <北海学園札幌高等学校>

1. 地域社会への貢献と連携の推進	
計画	・平岸地区連合町内会でのボランティア活動の実施 ・豊平まちづくり協会との連携を模索するため、協議を進める
KPI	・平岸地区連合町内会でのボランティア活動の実施（年 2 回以上） ・豊平まちづくり協会と連携案の作成

## 5. 国際化

### <北海学園大学>

1. 国際交流支援体制の構築	
計画	・国際交流課、国際交流委員会と連携し、国際交流センター設置に向けた検討を実施
KPI	・国際交流センター設置に関する諸課題を検討し、センターの趣旨・体制等についての原案を作成

### <北海商科大学>

1. 海外協定校との研究・教育交流の充実	
計画	・新設授業科目のテーマおよび目標の検討継続
KPI	・新カリキュラム作成と新設科目設定

### <北海高等学校>

1. 英語教育の充実による英語力の向上	
計画	・英検受験推進策の検討と試験対策の実施 ・国際交流委員会からの「HOKKAI English news」のデジタル配信 ・英語を中心に、生徒が語学に触れる機会を提供 ・運動部推薦生の英検受験機会拡大と合格対策の強化
KPI	・生徒の国際社会への関心度調査の実施 ・英語検定受験生、合格者の増加
2. 国際理解教育の強化と新制度の検討	
計画	・総合的な見地から今後の国際理解教育についての検討を実施 ・研修生の留学経験を、全校生徒対象に幅広く周知する取り組みの検討 ・アメリカポートランド州立大学語学研修制度に関する調査実施
KPI	・研修制度の募集に際し、留学経験者の体験や感想を伝えることで関心度を高め、留学プログラムへの参加者を増やす ・アメリカポートランド州立大学担当者とのメール協議等を実施

### <北海学園札幌高等学校>

1. グローバル人材育成のための支援体制構築	
計画	・海外大学進学委員会設置に向け国際教育連携部と進路指導部を中心に検討を継続
KPI	・海外大学進学委員会設置の検討（現状支援体制における課題整理、委員会設置に向けた方針案の策定）

## 6. 広報・ブランディング

### <北海学園大学>

1. 広報活動における SNS 活用の推進	
計画	・事務部庶務課、学習支援システム課および入試部入試課の協力を得て、SNS への投稿を行う
KPI	・15 秒前後の動画又は静止画を年 40 本程度（累計 80 本）、2 分前後の動画を年 3 本程度（累計 6 本）作成し投稿
2. 高大連携の推進	
計画	・高大連携委員会で連携のあり方、連携先の選定、連携の具体的内容等を検討 ・併設校 2 校に対する事業を推進
KPI	・高大連携委員会における議論の結果を取りまとめる ・併設校 2 校の「総合的学習の時間」への全学的な参画 ・併設校 2 校での大学説明会の開催
3. 広報／ブランディング体制の検討と整備	
計画	・広報体制の現状を分析するとともに広報活動における課題を抽出 ・高大連携委員会による連携のあり方を検討
KPI	・分析結果及び課題の抽出結果の報告 ・高大連携のあり方を策定
4. 入学者確保のための選抜制度改革	
計画	・一般選抜（統一型）実施の効果を検証する（2026 年度分） ・総合型選抜実施の効果検証と全学的導入の検討 ・地方選抜会場（東北地域）変更の効果を検証
KPI	・2025 年度志願者数の維持又は増加

### <北海商科大学>

1. 大学広報の強化と選抜方法の見直し	
計画	・「受験生応援サイト」のリニューアルに向けた検討の継続 ・2028 年度選抜に向けた総合型選抜及び推薦型選抜（併設校）の実施方法の見直し
KPI	・「受験生応援サイト」リニューアル原案作成 ・選抜方法見直し原案作成
2. 積極的な広報と SNS の活用推進	
計画	・広報委員会における SNS 活用方法の検討継続 ・SNS による情報発信の一部開始
KPI	・SNS 活用方法の原案作成 ・SNS での情報発信毎月 5 件以上

## <北海高等学校>

1. 多様な広報活動の展開	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志願者数確保に関わるデータ収集と、その分析に基づき 2027 度以降の施策検討を実施</li> <li>・特進クラス、S クラスの受験生増のための具体的施策を検討</li> <li>・授業料無償化に対応した奨学金制度の拡大とその周知</li> <li>・各種広報（SNS やデジタルサイネージ等）を通じた魅力発信の強化とともに、広報費の見直しに着手</li> <li>・ホームページ更新への具体的検討とそれに伴う予算の策定</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生 1500 名から 1700 名以上への志願者確保</li> <li>・S クラス・特進クラスの受験生の増加</li> <li>・中学校等での出張進路説明会の機会の増加</li> <li>・私学展、学校公開におけるブースでの相談件数の増加</li> <li>・ホームページの更新および SNS の広報効果の検証</li> </ul>

## <北海学園札幌高等学校>

1. 多様な広報事業の展開	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会、オープンスクールの内容見直し</li> <li>・ホームページリニューアルに向けた検討を継続</li> <li>・学校案内パンフレットの内容見直しに関する検討を継続</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会、オープンスクール来場者アンケート集計・分析</li> <li>・ホームページ内容精査、アクセス状況分析結果の共有</li> <li>・学校案内パンフレットの見直し実施</li> </ul>

## <学園全体>

1. 戦略的・効果的な広報事業の検討	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度調査結果等に基づき、総務課と経営企画課で法人の広告事業の見直しと 2027 年度予算への反映を検討</li> <li>・地域社会から本学園に対する興味・関心を高めるため、取り組み事例を含む様々な情報発信を実施</li> <li>・学園全体の広報の在り方に関するヒアリングの実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報事業の見直しと 2027 年度予算への反映</li> <li>・本学園の取り組みに関する広報の実施（新規取り組み 1 件以上）</li> <li>・広報体制の在り方に関するヒアリング結果の集約</li> </ul>
2. 学園ブランド推進のための Visual Identity (VI) の整理・確立	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人及び設置各校の VI に関する現状のヒアリングと整理</li> <li>・150 周年記念に関する動向を踏まえながら、VI の方向性について検討を開始</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VI の現状把握完了</li> </ul>

## 7. 経営基盤

### <北海学園大学>

1. 業務効率化の推進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学及び学部の委員会の業務内容を検証し、委員会の統廃合や委員の人数の削減を検討する</li> <li>・会議時間は原則として1コマ以内を目指し、効率的な議事を運営する</li> <li>・事務業務の内容を検証し、効率化を検討する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学と学部委員会の数（5名相当減）</li> <li>・会議時間の達成率（50%）</li> </ul>
2. 女性教員の採用促進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学部で公募書類の備考欄に「業績等が同等であれば女性を優先的に採用すること」を明記する。</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性教員比率 20%～25%</li> </ul>
3. 学内公式文書の学内開示と管理に関する基本的枠組の構築	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・G-PLUS！-キャビネット（全学）、LMS（学部・研究科）による会議録と会議資料を開示し、利活用を促進する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生委員会、キャリア支援委員会等の会議録と資料および学長室会議資料の開示（G-PLUS！）</li> <li>・教授会、研究科委員会の会議録と会議資料の開示（LMS）</li> </ul>

### <北海商科大学>

1. 教職員の資質・能力向上のための取組み推進	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数体制の職場環境においても職員が着実に業務能力を高められるよう、上司・先輩職員による日常業務を通じた指導・育成の仕組みを整備する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務振り返りの実施（半年ごと）</li> </ul>
2. 財務内容改善に向けた経費の削減	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度予算額の削減に向けて、事業、業務内容の見直しと合理化の検討を継続する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度予算の前年度比5%減</li> </ul>
3. 若手研究者・女性研究者等の研究充実のための各種委員会業務見直し	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の委員会の業務内容を検証し、委員会の統廃合や委員の人数の削減を検討する</li> <li>・事務業務の内容を検証し、業務の効率化を目指し検討する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会の委員数（2名減）</li> </ul>
4. 学生データの一元管理を行うシステムの構築	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生データの一元管理を目的としたシステムを導入するため、必要な情報の整理や活用方法の検討、情報収集の方法等の検討を入試委員会中心に実施する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生データ管理一元化に向けた検討（進捗度80%）</li> </ul>

## <北海高等学校>

1. 北海校校友会との連携強化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海校校友会と創立 150 周年に向けた協議を開始</li> <li>・「校友の集い」を校友会とともに開催する</li> <li>・校友会奨学金制度の充実のため、寄付の返礼品について検討するとともに、北海学園パイオニア基金の積極的説明を実施</li> <li>・学校と OB、OG とのつながりの重要性に関する教職員の理解を深める</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海校校友会と創立 150 周年に向けた協議を開始</li> <li>・「校友の集い」の開催</li> <li>・校友だより「HOKKAI ism」の編纂と発行</li> <li>・校友会各支部(15 支部)の総会、懇親会でのパイオニア基金協力呼び掛け</li> </ul>
2. コンプライアンスの遵守と危機管理体制の強化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の危機管理意識の徹底のため、積極的な周知を行うとともに、学年主任、部活動顧問については定期的な会議を開催して意識の共通化を図る。また、研修や外部評価体制の構築等、客観的な視点も含めるよう取り組む</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海学園の「危機管理体制」を基礎に学校独自に事例の更新</li> <li>・各種アンケートや面談等の情報を一元管理化</li> </ul>
3. 防災体制の強化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の在り方に関する検討を継続</li> <li>・2026 年度以降の訓練に関する北海学園札幌高校との連携について協議開始</li> <li>・災害発生時の各種事象を想定した資料作成</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の在り方について方針策定、一部年度内実施</li> <li>・北海学園札幌高校と連携した避難訓練に関する協議、まとめ</li> <li>・周知用資料作成（進捗 50%）</li> </ul>
4. 分掌の再編、業務の統合等の検討	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌の業務整理と業務効率化に向けた見直し案作成</li> <li>・現在の校務システムをより安価で効率化するために検討し必要な予算措置を図る</li> <li>・情報システム連絡会との協議</li> <li>・採点業務に関するソフトの更新</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌の業務整理と業務効率化に向けた見直し案作成（進捗 45～50%）</li> <li>・採点業務及び校務システムに関するソフトの更新</li> </ul>

## <北海学園札幌高等学校>

1. 入試方法の改良	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試方法の改良に向けた検討を継続</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試方法の改良に向けた情報収集</li> </ul>
2. 危機管理体制の強化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システム管理運営委員会を中心に緊急連絡及び安否確認システム構築に向けた計画案の作成を継続</li> <li>・防火・防災委員会において危機管理マニュアルの見直し実施と改善案を検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡及び安否確認システム計画案作成（進捗 60%）</li> <li>・危機管理マニュアルの問題点抽出と改善案の検討と体制の整備</li> </ul>

3. 健全な学校運営のためのコンプライアンス遵守	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員のコンプライアンス意識向上に向けた初期取組みの実施</li> <li>・コンプライアンス意識調査内容の検討の継続と調査実施</li> <li>・外部研修会参加と情報の共有</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全員にコンプライアンス遵守の事例研究テキストの配布による研修を1回実施</li> <li>・年度末までに全教職員のコンプライアンス意識調査を1回実施（コンプライアンス理解度を85%以上とする）</li> </ul>

## <学園全体>

1. 財政改善	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費比率 60%以下、経常収支差額比率 2%以上</li> <li>・2025年度の達成度把握と新規達成が可能な配分項目の選出と分析</li> <li>・見直し後の資産運用計画に従って運用を実施</li> <li>・北海学園大学の体育館解体工事・インフラ整備工事代金支払い後の決算状況を踏まえ減価償却引当特定預金への積立を検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算時における財務比率により進捗を確認し次年度の目標値を定める</li> <li>・補助金確定通知等による結果確認</li> <li>・定期報告と運用方法の見直しにより運用収入の維持・改善</li> <li>・財政計画と施設設備計画の確認</li> </ul>
2. 財務システム更新による業務効率化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算申請・執行を検証と予算の厳格化による予算編成の見直しを行い、不要と思われる業務の検証および問題点の洗い出しを行い、業務の効率化を図る</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書と決算書の金額差異の検証と伝票の流れの遅延が多発する内容を検証</li> </ul>
3. 監査機能向上と監事機能の実質化を目指した支援体制整備	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査計画の作成及び監査</li> <li>・監事会の定期的な運営実施</li> <li>・監査連絡会の運営実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査計画に基づく監査の実施</li> <li>・監事会の定期的な実施</li> <li>・監査連絡会の実施</li> </ul>
4. 法人運営におけるガバナンス強化のための環境整備	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度から準拠している私立大学ガバナンス・コード（日本私立大学協会〈第2.0版〉）に関する遵守状況の点検及びガバナンス体制の検証・見直し</li> <li>・理事会及び常任理事会の運用体制の方針案検討</li> <li>・外部役員、評議員に対する前年度の検討を踏まえた情報提供及び研修の実施、アンケート（ヒアリング）調査、次年度の企画</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンス・コードの点検、ガバナンス体制の検証・見直し</li> <li>・運用体制の方針案作成</li> <li>・情報提供・研修の実施、実施内容の見直し・情報収集（アンケート等含む）、次年度企画</li> </ul>

<b>5. 学園事務職員の育成に関する各種方針の策定と研修体制の構築</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDの現状及び職務基準に即した知識・能力の習得を踏まえて事務職員研修制度原案を作成する</li> <li>・人材育成方針原案および事務職員研修制度原案について事務局長以下役職者で確認・検討</li> <li>・完成した両制度を全事務職員に周知徹底する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員研修制度原案作成</li> <li>・人材育成方針、研修制度の完成と事務職員への周知</li> </ul>
<b>6. 大学を中心とした学園全体の教育研究組織の在り方検討</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部検討の場としてきた委員会を中止し、将来計画作成に合わせて、教育研究組織の在り方について、現状の課題とともに検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の課題抽出</li> <li>・必要組織及び在り方の精査</li> </ul>
<b>7. 教職協働を推進する機能的かつ合理的な事務組織の構築</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見据えて新体制組織図及び業務内容案のブラッシュアップ</li> <li>・新体制における意思決定システム（決裁ルート）等の検討</li> <li>・諸規程、その他変更必要事項の洗い出しと変更案作成着手</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織図、業務内容案完成</li> <li>・新組織意思決定システム等案の作成</li> </ul>
<b>8. 魅力ある学園づくりのための大学組織見直し（北海商科大学）</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部学科改組に係る文部科学省への事前相談実施</li> <li>・新学部学科の入試に向けた戦略的な広報事業の検討・実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省への事前相談の実施</li> <li>・学部学科の改組に関する広報の開始</li> </ul>
<b>9. 魅力ある学園づくりのための大学組織見直し（北海学園大学）</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部改組に係る準備及び新学部の入試に向けた戦略的広報事業の検討実施</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省への事前相談の実施</li> <li>・学部学科の改組に関する広報の開始</li> </ul>
<b>10. 学園創基 150 周年記念事業の検討</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来計画作成の進捗に合わせて、150 周年記念事業コンセプトおよび基本計画（規模・実施事業大枠）を策定</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業コンセプトの決定</li> <li>・基本計画案の策定</li> </ul>
<b>11. 寄付金募集体制の見直し</b>	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なステークホルダーに応じた戦略的な寄付募集を展開することで寄付件数を増加させる。</li> <li>・パイオニア基金の認知度を高めるための検討</li> <li>・返礼品を含めた寄付制度の検討</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海学園パイオニア基金寄付件数の増加（2025 年度の 2 倍以上）</li> </ul>

## 8. 施設設備

### <学園全体>

1. 校地・校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営～耐震化・冷房化・バリアフリー化・老朽化対策	
計画	<p>①耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園大第1体育館耐震化（解体・建替え）1/3年目</li> <li>・北海高第1体育館耐震化（解体・建替え）1/2年目</li> <li>・学園大工学部校舎1号棟耐震補強工事</li> <li>・北海学園札幌研修施設棟3（旧健友寮）解体</li> </ul> <p>②教育研究環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園大6号館暖房システムガス化1/2年目</li> <li>・商科大1号館5.6階教室冷房化</li> <li>・学園大校舎4号館2～10階研究室等冷房化</li> <li>・学園大図書館・国際会議場5階研究室冷房化</li> <li>・学園大工学部校舎2号館4～8階研究室冷房化</li> <li>・清田校地第2球場管理棟増築（北海学園大学硬式野球部寄付事業）</li> <li>・バリアフリー優先度調査に基づき整備推進</li> </ul>
KPI	<p>①耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化率目標</li> <li>大学（学園・商科）99.5%</li> <li>高校（北海・学札）92.8%</li> </ul> <p>②教育研究環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般教室等冷房化率目標（ゼミ室・実験室除く）</li> <li>学園大 95.0%</li> <li>商科大 100%</li> <li>・計画の実施と見直し</li> </ul>
2. 防災管理体制の強化	
計画	<p>（BCM）BCP、防災マニュアルの継続的な見直し</p> <p>（防災）学内での防災イベントの実施</p> <p>（入退館）入退館（監視）システム・導入検討</p> <p>（警備）警備体制の見直しについての検討（大学）</p> <p>（避難所）北海高等学校新体育館（2027年度竣工）の避難施設としての運用計画検討</p>
KPI	<p>（BCM）BCMについての継続的な検討</p> <p>（防災）前年度の取組を継続し、防災に対しての意識の定着化を図る</p> <p>（入退館）システム導入に関する検討</p> <p>（警備）警備体制の検討</p> <p>（避難所）避難施設としての運用計画検討</p>

3. 多様な学びに対応した ICT 環境の整備及び情報リテラシーの推進と情報セキュリティの強化	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内ネットワーク機器整備（学園大・商科大・北海高校・札幌高校）</li> <li>・マルチメディア機器整備（学園大・商科大）</li> <li>・ロードバランサー機器更新（学園大）</li> <li>・教員用 PC 更新（北海高校）</li> <li>・無線アクセスポイント整備（I 期）（北海高校・札幌高校）</li> <li>・教員用 PC 更新（札幌高校）</li> <li>・情報リテラシー教育の実施（生徒・学生／教職員）</li> </ul>
KPI	<p>財政状況等による事業の先送り等を除き、左記年度事業の 80%以上を実現する。</p> <p>-----</p> <p>◆情報リテラシーの KPI</p> <p>①生徒・学生（在籍中 1 回以上受講）</p> <p>「情報リテラシーセミナー受講者数」</p> <p>《評価基準》</p> <p>生徒：在校生の 95%以上</p> <p>学生：在学生の 70%以上</p> <p>②教職員（毎年 1 回の受講）</p> <p>「情報リテラシーセミナー受講者数」</p> <p>《評価基準》</p> <p>教育職員：在職者の 60%以上</p> <p>事務職員：在職者全員</p> <p>※事務職員は重要な情報資産を取り扱うため、受講必須とする。</p>
4. ビジョンの実現を目指したキャンパスプランの検討	
計画	・将来計画作成の進捗に合わせて、キャンパス及び施設に関する意見を集約するとともに、検討の進め方を決定
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見聴取結果の集約</li> <li>・検討の進め方決定</li> </ul>

## Ⅲ. 予算の概要

### 1. 2026（令和8）年度予算編成の方針

本学園を取り巻く環境は、少子化の進行やエネルギー価格をはじめとする物価の高騰など、大変厳しい状況にあります。学園としても、今後、北海学園大学、北海高校、北海学園札幌高校の体育館建て替えという大規模事業を控えており、徹底した予算管理が必要となります。そのような中、本学園は、北海学園創基 150 周年となる 2035 年に向けた目標「北海学園 VISION 2035」を掲げ、昨年度から目標達成のためのプロセスとして「北海学園中期計画 2025-2029」で策定した施策に取り組んでいます。中期計画の施策を着実に遂行するためには、計画期間の各年度において限られた財源を効果的に配分しなければなりません。そのためには、安定した学生生徒の確保と、支出抑制を推進することで、収支の均衡を目指した財政基盤の確立が必要です。

以上のことを念頭に置き、2026 年度は以下の点を基本的な方針として予算を編成しました。

- 法人全体の財政健全化を前提とした前年度予算の見直し及び圧縮の推進
- 教育・学術研究の充実強化
- 公的助成・寄付金等による施設設備の高度化の推進
- 国際交流・研究交流の推進
- 高大連携等、特色ある教育の充実強化の推進

### 2. 収支予算書について

予算書について、私立学校法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『事業活動収支予算書』の 2 種類を作成することになっています。

「資金収支予算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。

「事業活動収支予算書」は、学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

#### （1）資金収支予算書 概要

##### < 収入の部 >

##### ① 学生生徒等納付金収入

新入生及び在学学生見込数から試算した結果、102 億 6,280 万円を見込み、前年度予算額に対して 3 億 6,199 万円の増額となっています。学生数は合計 11,443 名で試算しています。

##### ② 補助金収入

主に大学の経常費補助金、授業料等減免費交付金、高校の管理運営費補助金などにより、前年度に対して 2 億 899 万円増額の 22 億 4,503 万円と試算しています。

##### ③ 前受金収入

27 億 5,024 万円を計上しており、その主な内容は納付金となっています。

##### ④ その他の収入

退職金の戻り金収入による前期末未収入金収入、北海高校、北海学園札幌高校生徒のタブレット PC の立替金回収収入などを計上し、6 億 9,678 万円となっています。

以上に、前年度繰越支払資金の79億9,319万円を加えた収入の部 合計は、217億1,240万円で、前年度予算額に対し、4億9,946万円の増額となりました。

#### < 支出の部 >

##### ① 人件費支出

教職員合計1,050名で総額77億628万円と試算しました。退職金が増額となり、前年度予算額に対し、3億6,438万円の増額となっています。

##### ② 教育研究経費支出

総額36億8,347万円を計上しています。修繕費において学園大学及び北海高校の第1体育館耐震改築工事費等の要因により前年度対比約12.3%増、4億221万円の増額を見込んでいます。

##### ③ 管理経費支出

修繕費支出で研修施設棟3の解体工事費5,000万円の計上等により、前年度予算額と比較し、7,517万円の増額で、5億8,450万円となっています。

##### ④ 施設関係支出

建物支出の学園大学及び北海高校の体育館耐震改築工事費などにより、総額18億6,250万円を見込んでいます。

##### ⑤ 設備関係支出

教育研究用機器備品費支出において前年度施行した北海学園大学のコンピュータ実習室更新費用の減額により、合計4億6,409万円となっています。

以上の収支により、翌年度繰越支払資金は70億9,363万円、前年度から8億9,956万円の減額となっています。

#### (2) 事業活動収支予算書 概要

教育活動収支について、教育活動収入合計額は131億5,050万円となり、前年度予算額に対して6億7,954万円の増額となっています。主に学納金の増額が要因となります。

教育活動支出では、人件費が退職給与引当金繰入額を含めて総額76億9,372万円となり、前年度と比較して3億1,709万円の増額、教育研究経費は減価償却額を含め48億3,744万円と、前年度から4億9,996万円の増額、管理経費は前年度より8,567万円増額の6億6,269万円を計上しています。その結果、教育活動支出合計額は、131億9,386万円となり、前年度予算額に対し、9億273万円の増額となりました。

経常収入（教育活動収入合計額+教育活動外収入合計額）は132億5,550万円を見込んでおり、前年度予算額と比較して7億6,014万円の増額となります。一方、経常支出（教育活動支出合計額+教育活動外支出合計額）は教育活動による支出のみで131億9,386万円を計上しています。前年度予算と比較して9億273万円の支出増となっており、その主な要因としては、人件費における退職金の増額と教育研究経費における両体育館の耐震改築工事費の増額が挙げられます。以上の経常収入と経常支出を合わせた経常収支差額は、6,164万円の収入超過となっています。

特別収支の内容として、収入は施設設備に係る補助金を、支出については建物をはじめとした資産処分差額を計上しています。

以上の経常収支差額、特別収支差額、そして予備費1億5,000万円を合計した基本金組入前当年度収支差額は5,589万円の支出超過となっています。

基本金組入額は、主に資金収支の施設設備関係支出の資産計上額で20億8,711万円となり、当年度収支差額は、21億4,301万円の支出超過です。

## 資金収支予算書（前年度比較）

### 収入の部

(単位：千円)

年度 科目	2025(R7)年度予算		2026(R8)年度予算		
	金額	構成比率	金額	構成比率	対前年度 比率
学生生徒等納付金収入	9,900,811	70.1%	10,262,809	74.8%	103.7%
手数料収入	263,054	1.9%	271,660	2.0%	103.3%
寄付金収入	59,450	0.4%	87,700	0.6%	147.5%
補助金収入	2,036,042	14.4%	2,245,038	16.4%	110.3%
付随事業・収益事業収入	11,000	0.1%	13,000	0.1%	118.2%
受取利息・配当金収入	24,400	0.2%	105,000	0.8%	430.3%
雑収入	231,968	1.6%	527,567	3.8%	227.4%
借入金等収入	-	0.0%	-	0.0%	
前受金収入	2,773,305	19.6%	2,750,240	20.0%	99.2%
その他の収入	1,626,267	11.5%	696,783	5.1%	42.8%
資金収入調整勘定	△ 2,797,255	△19.8%	△ 3,240,590	△23.6%	115.8%
計	14,129,042	100.0%	13,719,207	100.0%	97.1%
前年度繰越支払資金	7,083,897		7,993,198		112.8%
収入の部合計	21,212,939		21,712,405		102.4%

### 支出の部

(単位：千円)

年度 科目	2025(R7)年度予算		2026(R8)年度予算		
	金額	構成比率	金額	構成比率	対前年度 比率
人件費支出	7,341,902	55.5%	7,706,285	52.7%	105.0%
教育研究経費支出	3,281,266	24.8%	3,683,479	25.2%	112.3%
管理経費支出	509,332	3.9%	584,509	4.0%	114.8%
借入金等利息支出	-	0.0%	-	0.0%	
借入金等返済支出	-	0.0%	-	0.0%	
施設関係支出	490,191	3.7%	1,862,505	12.7%	380.0%
設備関係支出	996,811	7.5%	464,098	3.2%	46.6%
資産運用支出	196,620	1.5%	350,616	2.4%	178.3%
その他の支出	606,075	4.6%	516,981	3.5%	85.3%
〔予備費〕	〔200,000〕	1.5%	〔200,000〕	1.4%	
資金支出調整勘定	△ 402,456	△3.0%	△ 749,705	△5.1%	186.3%
計	13,219,741	100.0%	14,618,768	100.0%	110.6%
翌年度繰越支払資金	7,993,198		7,093,637		88.7%
支出の部合計	21,212,939		21,712,405		102.4%

# 事業活動収支予算書（前年度比較）

(単位：千円)

科目		年度	2025(R7)年度予算		2026(R8)年度予算		
			金額	事業活動 収入比率	金額	事業活動 収入比率	対前年度 比率
教育活動 収支	収入業 の活動 部動	学生生徒等納付金	9,900,811	79.0%	10,262,809	75.9%	103.7%
		手数料	263,054	2.1%	271,660	2.0%	103.3%
		寄付金	59,450	0.5%	87,700	0.6%	147.5%
		経常費等補助金	2,004,682	16.0%	1,987,770	14.7%	99.2%
		付随事業収入	11,000	0.1%	13,000	0.1%	118.2%
		雑収入	231,968	1.9%	527,567	3.9%	227.4%
		教育活動収入計	12,470,965	99.6%	13,150,506	97.2%	105.4%
	支事業 の活動 部動	人件費	7,376,637	58.9%	7,693,728	56.9%	104.3%
		教育研究経費	4,337,481	34.6%	4,837,445	35.8%	111.5%
		管理経費	577,016	4.6%	662,692	4.9%	114.8%
		徴収不能額等	-	0.0%	-	0.0%	
教育活動支出計		12,291,134	98.1%	13,193,865	97.6%	107.3%	
教育活動収支差額		179,831		△ 43,359		△24.1%	
教育活動 外収支	収入業 の活動 部動	その他の収入	24,400	0.1%	105,000	0.8%	430.3%
		その他の教育活動外収入	-	0.0%	-	0.0%	
		教育活動外収入計	24,400	0.1%	105,000	0.8%	430.3%
	支事業 の活動 部動	借入金等利息	-	0.0%	-	0.0%	
		その他の教育活動外支出	-	0.0%	-	0.0%	
		教育活動外支出計	0	0.0%	0	0.0%	
教育活動外収支差額		24,400		105,000		430.3%	
経常収支差額		204,231	1.6%	61,641	0.5%	30.2%	
特別 収支	収入業 の活動 部動	その他の収入	31,360	0.3%	257,268	1.9%	820.4%
		特別収入計	31,360	0.3%	257,268	1.9%	820.4%
	支事業 の活動 部動	資産処分差額	101,978	0.8%	224,803	1.7%	220.4%
		特別支出計	101,978	0.8%	224,803	1.7%	220.4%
	特別収支差額		△ 70,618		32,465		△46.0%
〔予備費〕		〔150,000〕	1.2%	〔150,000〕	1.1%		
基本金組入前当年度収支差額		△ 16,387	△0.1%	△ 55,894	△0.4%	341.1%	
基本金組入額合計		△ 1,038,845	△8.3%	△ 2,087,117	△15.4%	200.9%	
当年度収支差額		△ 1,055,232		△ 2,143,011			
前年度繰越収支差額		△ 18,914,914		△ 19,970,146			
基本金取崩額		-		-			
翌年度繰越収支差額		△ 19,970,146		△ 22,113,157			
(参考)							
事業活動収入計		12,526,725	100.0%	13,512,774	100.0%	107.9%	
事業活動支出計		12,543,112	100.1%	13,568,668	100.4%	108.2%	

## 学校法人北海学園

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

TEL 011-841-1161

<https://www.hokkai-t-u.ac.jp/>



2026年3月作成